

14163 比較宗教論 I Comparative Studies of Religions I		2 年次～ 前期 2 単位	
担当者	森 謙二	履修可能学科	E Pe Pc C W F
		関連資格	教職必(C)
サブタイトル	生と死をめぐる思想		
授業内容 ・ ねらい	<p>死・葬送・墓、そして「いのち」をテーマとします。 死については、日本人の死生観を中心にその変化やヨーロッパとの比較をテーマとします。葬送については、葬送儀礼を中心にその儀礼の意味について考えると同時に、その変化について考えていきます。お墓については、日本の伝統的なお墓のあり方から現代に至るまで、またお墓のあり方が世界の中でどのように異なっていくかについて考えていきます。 生殖技術の展開は「いのち」のあり方を大きく変えようとしています。臓器売買や代理生殖のように〈いのち〉が市場の中で交換されようとしている現状を踏まえて、現状とともに何が問題なのかを明らかにしたい。 授業は、原則として、パワーポイントを用いて行います。</p>		
授業計画	1 死と埋葬 2 葬送儀礼の変化 3 墓の習俗(1) 日本 4 墓の習俗(2) ヨーロッパ 5 祖先祭祀と死者の尊厳性 6 現代のお墓をめぐる問題 7 死者を慰霊するとはどういうことか 8 「いのち」を育むこと 9 〈いのち〉の選択 — 優性思想の展開	10 生殖技術をめぐる問題(1) 体外受精 11 生殖技術をめぐる問題(2) 代理生殖 12 死の判定 脳死 13 臓器移植 14 臓器売買 15 まとめ	
教科書 参考書	講義のなかで指定する		
評価方法	試験と出席、その他の総合評価		
事前準備学習 履修条件等	テストは持ち込み可になります。授業中のノートの作成が重要になります。		